

## 基本理念

あらゆる主体の参加と協力が必要とされるSDGsにおいては、地方自治体の取り組みも重要な役割を果たします。誰一人取り残さない、持続可能なまちづくりを目指すため、SDGsの理念をもとに、まちづくりの基本的な考え方として4つの基本理念を設定します。

まちづくりの主角は、一人ひとりの市民です。生涯を通じて自分らしさを最大限発揮して、すべての市民がお互いを尊重し、みんなで支え合う、安心できるあたたかいコミュニティをつくっていきます。



みんなが輝くまちをつくる  
「社会」



みんなが豊かなまちをつくる  
「経済」

地域資源と地理的特性を生かした、活力ある産業を育てます。また、働きやすく利便性の高い環境の中で、賑わいと交流を広げることで、心も豊かになるまちを目指します。

人々が輝き、豊かな生活を送るためには、それらを支える自然環境が守られている必要があります。本市固有の豊かな自然を守り、育て、共生しながら、未来の世代へつなげていきます。



みんなが自然と共生するまちをつくる  
「環境」



みんなが協働してまちをつくる  
「協働」

SDGsの達成のためには、国や行政だけでなく、一人ひとりの参加と行動が不可欠であるため、SDGsの理念のうち「協働」を重視し、市民・事業者・行政等のあらゆる主体の協働により、新しい時代に対応する豊かな地域社会の実現を目指します。

## 将来人口

全国的に少子高齢化が進行する中、一定規模の人口を維持し、持続可能な地域社会をつくるため、子育て支援の充実や優良企業の誘致による雇用の確保等の施策を推進することを通じて、目標人口を設定しています。



令和14(2032)年の目標人口 **141,000人**

令和5年4月から

第2次久喜市総合振興計画  
がスタートします！

目指すまちの将来像

人が笑顔 街が元気 自然が豊か  
久しく喜び合う住みやすいまち 久喜

## 総合振興計画とは？

総合振興計画とは、将来に向けて久喜市をどのようなまちにしたいか、そのために、どのようなことに取り組むかを総合的かつ体系的にまとめた市政の最上位となる計画であり、市民参加、教育、文化、保健福祉、防災、建設、産業、環境など、市が行うあらゆる分野にわたる行政施策の指針となるものです。

このたび、令和5(2023)年度から令和14(2032)年度までの10年間を計画期間とする第2次久喜市総合振興計画を策定しましたので、お知らせします。

なお、策定にあたっては、市民意識調査や中学生アンケート、市民ワークショップ、シンポジウム等を通じて、市民参加による計画づくりを行いました。

また、人口減少対策やまちの活性化を目的に地方創生の推進を図る第3期久喜市総合戦略との一体的な計画として策定しています。

この計画は、誰もが「住んでみたい」、「住んでよかった」、「これからも住み続けたい」と思えるまちづくりを推進することを目的に、「協働・共創のまちづくり」の視点で、市民の皆様と一緒に進める計画となります。みんなで力を合わせ、より良い久喜市をともに創っていきましょう。